

〔国際学研究フォーラム講演録 8〕

2016 年 10 月 26 日（水）

国際会計人によるシンポジウム

パネリスト：蟻 田 剛 毅
（株式会社シュゼット代表取締役社長）

伴 仁
（フェアコンサルティンググループ グループ代表）

柴 田 暁
（株式会社フェアコンサルティング シニアコンサルタント）

玉 村 健
（株式会社フェアコンサルティング ディレクター）

報告者：児 島 幸 治
（関西学院大学国際学部教授）

学生時代に会計学を学び、企業経営者やコンサルタントとして国際舞台で活躍する企業人 4 人によるシンポジウムを開催しました。それぞれがどのような学生時代や新入社員時代を過ごしたのか、そして世界各国における現在の事業の内容まで、学生に生の声を届けました。パネルディスカッションでは、それぞれの経験を踏まえて、今の大学生が今後備えるべきスキルや、将来の経営環境・労働環境の見通しについて討議を行いました。

第一部：パネリストの経緯、グローバルに活躍する現在の業務

株式会社シュゼット 代表取締役社長 蟻田剛毅

関学を卒業後に広告代理店に就職したが、入社後はやりたいことが見つからなかった。その後、自分が「食べ物」に関わりたいてと考えていた昔のことを思い出し、10 年後に父親の菓子会社に入社した。そこで、人間は自分の好きなことであれば努力ができるということに気がついた。

海外進出は、ゼロからスタートする気持ちで挑戦した。現地の反応は良かったが、営業成績は良くなかった。ただし、会計的な数字の裏付けがあり、数字で限界（ここまでだったら失敗しても良い）を知っているので営業を続けられた。2016 年には海外に 2 号店をオープンさせた。

フェアコンサルティンググループ グループ代表 伴 仁

大学時代に関学の会計研究会へ入部した。公認会計士試験合格後は、監査法人に就職したが、顧客にありがとうと言われたいという思いが強くなり、2004 年に現在の会社を設立した。関学・会計研究会の仲間が財産となり、会社で活躍していたり、取引先として一緒に仕事をしてくれている。

現在、フェアコンサルティングは 12 年目になるが、13 カ国 21 拠点で仕事をしている。特徴は、日本品質のサービスを、海外でも同じように提供すること。将来的には世界中に 200 の事務所を作ることを目指している。

第二部：パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、グローバルに活躍するためのスキル、経営（マネジメント）とは何か、今後のグローバルな経営環境・労働環境について話をした後に、学生との質疑応答が行われました。